事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

	コード		名	称		区分	コード		名	称			
市业力	F00	(A = A + A + A				会計	01	一般会計	_				
事業名	560	住民土体(の人権教育推進	争耒		款	10	教育費					
基本	38	万いた初と	か合い すべての) の 佐た茜香ナス		項	05	社会教育費					
施策	30	丑いる歌の	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する					教育集会所費					
施策	4	1 按 改 公	人権啓発活動の推進					教育集会所事業経費					
ル 東		入惟'古光		細々目	05	住民主体の人材	権教育推進	事業					
基本	計画該	当頁		147	行	革大綱	の重点	点事項番号					
担当部課	コード	:	451000					松裏 博文	連絡先	37 -	0558		
担当的味	名称		教育委員会 7	F郡教育集会所		氏 名		仏表 诗人	建裕元	(内線)			

事業	事業の計画・内容													
	対象等(何を、誰を)		成果(どうなるのか)											
事業目的	依那古地区住民、丸中ブロック教職員		住民と行政が協働し、住民が主体となって人権啓発推進ができるようになる。											
	(※対象件数)												
根拠法令·要綱等 伊賀市教育集会所条例														
開如	台年度 平成 年度 関連事業													
終 *	7年度 平成 年度													
事業内容	 人権問題講演会(依那古地区住民)の実施 同和教育学習会(丸中プロック内教職員)の実施 人権講演会(老人クラブ)の実施 人権問題講演会記録集の発行 		人権講演会の実施については、依那古地区草の根運動推進会議、地区市民センター、老人クラブの団体が主催者となって、行政主導から住民主体に変わっている。 変化等											

登順内容	
1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制			
1 運営主体	直営	□指定管理	□ 民間委託等
委託先			
2 配置(予定)人員	_		人
3 年間運営費			千円
4 市内の類似施設			

事業種別 単独 事業類型 I ソフト事業

学术 天模										
活動指標	単位		実終	責値		目標値				
冶刬拍標	甲亚		H18		H19	H20	H21			
講演会実施回数	0	目標	3	目標	3	2	3			
神,英云关	ш	実績	3	実績	3	3	3			
啓発用冊子配布戸数	п	目標	800	目標	800	800	800			
各光用冊丁配印尸数		実績	0	実績	0	800	800			
学習会実施回数		目標	1	目標	1	1	1			
子自云关心凹数	ш	実績	1	実績	1	'	'			

2次評価対象分

評価指揮

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位		実終	目標値				
争未の成果を測る拍標	拍標設定の考え万	- 年12		H18		H19	H20	H21	
啓発推進実践者数	人権啓発推進事業実施にあたり、多くの参加者を	ı	目標	20	目標	20	20	22	
百元推進夫成有奴	得るため、主体となって取組む実践者数		実績	17	実績	20	20		
講演会参加人数	参加者数の増加	ı	目標	280	目標	280	300	320	
哨 ,	ツ川石 双〇-日川	^	実績	266	実績	238	300	320	

評価		
評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	住民が主体となって講演会を計画・実施しているが、行政側はサポートを行い、更なる活動の広がりをバックアップし、地域 全体の啓発効果を高める必要がある。
有効性		行事を行う際に、住民が主体となることで、全地区的な呼びかけが出来ると同時に、実践者を増やすことにも繋がる。 また、人権問題講演会(依那古地区住民)、同和教育学習会(丸中ブロック内教職員)、人権講演会(老人クラブ)の実施に より幅広い年齢層を対象に啓発推進ができる。
達成度	3	講演会は計画どおり実施できたが、当初計画していた人権問題講演会(依那古地区住民)が、演奏やトークを交えての講演会(演奏会)となったため、啓発用冊子の発行ができなかった。
効率性		講演会の実施にあたっては、前年度と比較して参加者が減少しているが、本事業の目的から鑑み、現在の事業費が必要でありコスト低減は困難である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
Α		主体となって取組む実践者の増加と地域の各団体組織等の連携により、住民の関心を高められる講演会を計画し、参加者増に努める。

	年度							平成18	3年度	ま 決算	内容	平成19	9年度	決算内	内容	平成20	O年度	計画	内容	平成2	1年度	計画	内容	平成2	2年度	き 計画	内容	平成23	3年度	計画内	内容
	平及	. \						事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額
i	委託	: <	1	>		1	事	事業推進報償費			(千円) 110	事業推進報償費				事業推進報償費 印刷製本費				事業推進報償費 印刷製本費				事業推進報償費 印刷製本費	ł			事業推進報償費 印刷製本費			(千円) 150 34
	電工 学	;	_	$\overrightarrow{\vdash}$	$\left. \left\{ \right. \right. \right $		業力容																								
ž	t																														
	進捗率																														
	(%)						4	F業費計(A)		Σ	110	事業費計(A)		Σ	110	事業費計(A)		Σ	184	事業費計(A)		Σ	184	事業費計(A)		Σ	184	事業費計(A)		Σ	184
		事	業投 刀	人人員	l		7	(H費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600
		フルコ	가	(A) -	+(B)					-	3,710				3,710				3,784		_		3,784				3,784				3,784

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事 業 費	110	110	184	184	184	184
	国庫支出金						
A	県 支 出 金	55					
B -1	地 方 債						
循	受益者負担						
内	その他						
訳	一般財源	55	110	184	184	184	184
μ,	計	110	110	184	184	184	184
1備		住民主体の人権教育推進事業補助金 50%					